

令和3年度 静岡大学人文社会科学部  
夜間主コース社会人選抜試験問題  
[第2期]

経済学科 [小論文] S2K

令和3年2月20日(土)  
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子 (この表紙を除く) . . . 4 枚  
解答用紙 . . . 4 枚  
下書用紙 . . . 4 枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。  
数字例：123 であれば、「12」と「3」で二マス使用。  
英字例：abc であれば、「ab」と「c」で二マス使用。

次の文章は、アビジット・V・バナジー&エステル・デュフロ著、村井章子訳『絶望を希望に変える経済学—社会の重大問題をどう解決するか』（日経BP 日本経済新聞出版本部，2020年）の一部である。この文章を読み，問1～問3に答えなさい。

## 著作物引用のため非公表

## 著作物引用のため非公表

## 著作物引用のため非公表

(注1) トマ・ピケティは、主著『21世紀の資本』(2013年)において、歴史的な観点から統計を用いて、富裕国の所得が上位1%の階層に集中している実態を明らかにし、資本主義の中心的な矛盾を説明している。また、エマニュエル・サエズはピケティとの共同研究者として知られているが、エマニュエル・サエズ/ガブリエル・ズックマン著『つくられた格差—不公平税制が生んだ所得の不平等』(2019年)では、過剰な富の集中や不平等の原因を明らかにしている。

(注2) トリクルダウン効果：富める者が豊かになれば、貧しい者も豊かになるという経済に関する仮説の一つ。現実には当てはまらないとして、多くの研究者による反証が行われている。

(注3) 富裕税：全資産から負債を差し引いた純資産に対して、恒常的に課税される資産税の一種。アメリカのウォーレン民主党上院議員は純資産5,000万ドル超に対して課税する案を提示している。

出典：アビジット・V・バナジー&エステル・デュフロ著、村井章子訳『絶望を希望に変える経済学—社会の重大問題をどう解決するか』（日経 BP 日本経済新聞出版本部、2020年）、344～361ページ。ただし、本文は縦書きを横書きにし、原文にあった小見出しなど一部を省略した。また、常用漢字以外にはふりがなを付け、注を付け加えた。

問1 下線部①では、格差の拡大は税による再分配では埋められないほど根の深い現象であることが指摘されているが、アメリカでは1980年代以降どのように格差が拡大したのかを、本文の内容に即して、250字以内で述べなさい。

[配点 25%]

問2 下線部②では、所得格差の主因をめぐって経済学者の間で結論が出ないのは、世界経済に重大な変化が次々に起こった時期でもあったからだとしているが、どのような変化が起こったのかについて、本文の内容に即して、250字以内で述べなさい。

[配点 25%]

問3 所得や富の格差問題を解決するためにはどのような政策が求められるのかについて、本文の内容を参考に、あなたの意見を500字以内で述べなさい。

[配点 50%]